

News 滋賀県勤労者スキー協議会

2023. 5. 15 NO. 25



クラブ行事で盛り上がった スノースポーツ!

滋賀スキー協の存立意義と 今後の発展

副会長 澤 豊治

内 容

1 巻頭言

副会長 澤

2 各クラブ行事紹介

with友

ブラッファーズ

ふるさと

ドルフィン

忍者

3 各部の行事紹介

基礎技術

競技

バックカントリー部

4 総会の案内

5 編集後記

コロナ禍の影響はまだ残っており、課題も山積しています。感染状況自体も決して安心できる状況ではありません。とは言え何とかトンネルの暗闇の向こうに光明が見えてきた感があります。GWも終わり多くの方はスキーシーズン 22-23 を終えられたのではないのでしょうか。皆さんどのようなシーズンでしたか。

滋賀スキー協では既にご承知の方もおられると思いますが、新たに上級指導員と全国デモが誕生しました。ご本人のご努力に改めて敬意を表しつつ滋賀スキー協としても一緒に喜びを共有させていただきたいと思います。このことは我々滋賀スキー協として大変大きな前進です。上級指導員 4 名、中級指導員 7 名、初級指導員 9 名、全国デモ 2 名を擁する協議会は全国でも滋賀だけです。

しかし、このことを踏まえ滋賀スキー協全体の組織や活動を見るとき、今後の我々の希望や課題が見えてきます。このような充実した指導員体制を宝の持ち腐れにするか、これを機に益々飛躍するか次のシーズン以降にかかっています。

スキー協の設立目的「スノースポーツ文化の魅力をより多くの人達に伝える」「早く、安全に、うまくなる」「スノースポーツ文化の継承と発展に寄与する」今一度この初心に立ち返り、会の有り様を見つめ直していくことが求められています。

スポーツをするものにとって経済的にも時間的にも益々厳しい社会になりつつあります。文化としてのスポーツ権の回復、発展をも視野に入れた上記の目標達成を目指していくことにこそ、他のスキー団体でない独自性を持った勤労者スキー協議会の存在価値があると考えます。数多くの人達が安心して気楽にスキー場に行け、安心してたのしく安全に上手になり何歳になってもスノースポーツの楽しさを享受できる。そんな真のスポーツ文化が当たり前になる社会を目指し、私たちがそれを体現するスポーツ団体になりたいものです。

会員お一人おひとりのご協力を引き続き宜しくお願いします。

〈With 友スノースポーツクラブ〉

2022年度活動報告

今年度は、クラブ創立10周年記念として念願の北海道・富良野ツアーを実現させたことが大きな成果です。参加者も過去最高の6名で、天候にも恵まれ富良野のパウダースノーを満喫することができました。他の例会も積雪に恵まれ、充実した講習も受けられ、参加者全員がレベルアップすることが出来ました。

池田指導員がスキー協デモンストレーション初認定!!また新会員の加入もあり、実り多い1年となりました。

【2022年度・活動報告】

7月3日	守山駅前にて総会&懇親会	参加者4名	前号で報告済
10月9日	近江八幡観光&懇親会	参加者4名	前号で報告済
1月20~23日	北海道・富良野ツアー	参加者6名	前号で報告済
2月1日	ジャム勝山・日帰りツアー	参加者5名	前号で報告済
2月9~12日	志賀高原・熊の湯ツアー	参加者6名	前号で報告済
3月9日	ジャム勝山・日帰りツアー	参加者5名	今回報告
5月14日	サントリー工場見学&シーズン反省会		

【3月9日:平日ジャム勝山・日帰りツアー参加者の報告】

・午前中に10本!

午前中は雪質は固めでコンディションは悪くなく、気温も暑くも寒くもなく汗はかきませんでした。昼飯を食べて13時頃にゲレンデに出ると、雪質は一変して、重くて雪溜まりが沢山出来ていました。しっかり板に乗らないと板が取られてしまいそうになるので、とても疲れしました。(F.S)

・板納めのジャム勝

朝日のなかを縫いジャム勝へ。思ったより雪は固くお気に入りのイリュージョンサイトへ。ほどなく1父娘と合流。軽やかに滑る二人の尻をおっさん3人が追いかける。予想通り3月は2月に湧いた若者も姿を消し貸切のようなゲレンデを心地よく滑りまくり、板納めに文句なしの滑走となった。抱擁してくれた雪山よありがとう。(M.O)



池田指導員がスキー協デモンストレーション初認定!!

池田指導員に奮戦記・抱負を聞く

今回、スキー協デモを初認定させて頂きました。デモ選の時期は年度末などの関係もあり参加が厳しい状況でしたが、コロナ禍のこともあり、スケジュールが空き挑戦する事が出来ました。晴天で雪面状況最高の状態で言い訳出来ないバーン状況でした。教程種目の真下への横滑りから始まり、点数がその都度公開されるシステムで、順調のスタートでしたが、ベーシックパラレルターン種目で痛恨のミスでしたが、他の種目の加点が多く何とか認定していただきました。スキーに関わる仲間へ感謝し、この技術が継続し、進化できるように頑張りたく思います。来年は、全種目オーバードで合格できるようにしたいです。

池田記



<ブラッファーズS.S.C>



2023 年度ブラッファーズ行事報告

5月3日4日5日立山大滑降に参加しました。

参加メンバーは平井・鈴木・畑・中山・竹山の5名。
天候は快晴。素晴らしいロケーションでしたよ!!
雷鳥に会えました。カヤクグリにも会えました。
珍しい鳥たちに会えただけで超ラッキーでした。
全国山スキー部主催の行事にブラッファーズ行事を
コラボして開催しました。参加者は全員で36名でした。
次回からは、もっともっとブラッファーズのメンバーや
滋賀県スキー協のメンバーを増やし、山スキーを通し
自然を満喫したいです。
滋賀スキー協の皆さん一緒に行きましょう!

今シーズンの総括

クラブ主催のスキー行事は12月から5月まで毎月1回企画しました。3月の競技部とのコラボ企画競技大会と4月の関西ブロックレベルアップは参加者が無く、中止としました。しかし、30周年記念行事の北海道ツアーはルスツで滑降が出来、参加者全員が大満足でした。来シーズンはもっともっと参加者が増える魅力的な企画を立案しウィンタースポーツの発展に努めたいと思います。



〈ふるさと s.c.〉

2023 年 4 月 鳥取皆生温泉ツアー

日時:2023 年 4 月 14日(金)~15日(土)

場所:皆生温泉(つるや)

参加者: 清水さん、今津さん、松原さん、小根田さん、水田夫妻、岡田
(現地参加 浜ちゃん、特別ゲスト アっちゃん)

さてさて、今年も鳥取旅行の時がやってきました。今年は華やかにそして少し賑やかになって 7 名の参加。2 台の車に分乗して新名神宝塚北で 9:30 頃合流、一路中国自動車道から鳥取道を通して日本海方面に向かいました。今年はずっと違い金・土曜の日程となり、この日は快晴で心もワクワク😊 お昼頃鳥取砂丘に到着、そこの海鮮屋でお昼を食べる事に。

しかし、そこには大きな罠が待ち受けていたのです😞「村上水産」(オフレコです)という店名だったのでしょうか、入って最初から雰囲気が悪かった予感がした松原さんと 岡田は何もオーダーせず店を出て行ったのですが、残る 5 名は夕食も控えているということもあり全員がミニ海鮮丼🍣をオーダー。それが気に入らなかったのかワサビを付けてと言っても店員さんは「無い」😞と拒否したそうです。しかもミニの割に値段(990 円)も高い。おつりも 10 円玉を出してくれない、まあ何と愛想のない店でオーダーせず出ていけばよかったと 5 名は反省しきりだったそう。又、新しい宴会ネタが出来ました。

今年も旅館は皆生温泉「つるや」🏨。一行は 15:30 頃無事到着、早速温泉で移動の疲れを癒しました。現地で浜ちゃんと合流、勿論、風呂上がりには🍷で 1 次会、これがたまらんですわ。美味しい料理に舌鼓を打ちながらの夕食と部屋での 3 次会。初日はあっという間に時が流れゆくのでした。

明けて 2 日目の土曜は🌧️模様。それでも宿を出る頃にはギリギリ傘が要るか要らないかくらいにまでマシになって、この日は今津さんお勧めの「美保神社(全国 3385 のえびす社総本宮)」にお参りに。更に、美保埼灯台へ行きました。本来は美保埼からは隠岐の島が見えるかもですが、この日は生憎の天気なので見る事は叶いませんでした。

その後は浜ちゃんお勧め米子と鳥取の間くらいにある海鮮屋「海」でのランチ。こちらは昨日と違っての満足な内容。大いに気をよくして一行は帰路に着いたのでした。

帰りも新名神宝塚北で 2 台の車は別れ、夕方それぞれの家路に着きました。今年も鳥取割もあって宿は 2 割引、平日 2000 円お土産クーポン付きとお得感も。早くも来年が待ち遠しいなあ〜。

(岡田記)

ふるさと通信より

〈ドルフィン s.s.c.〉

ドルフィンssc行事報告

レディーススキー

2月18日、国境スキー場にて3名でレディーススキー開催、雪がすでに少なくなり滑れるゲレンデは1本しかなかったので午前中で終了。

お昼はゆっくりランチとおしゃべり、スキーは山本さんと蒲生さん、お友達1名がボード。お互いにスマホで動画を撮りあって、ワイワイ言いながら滑りのチェックをしました。

来年は参加者が増える日を考慮したいと思います。

今シーズン総括

今シーズンは9月に芋ほり&総会を行い、10月にクラブ員の友達家族と己高山登山を行いシーズンをスタートしました。

今シーズンから新たに「シニアツアー」「レディースツアー」「孫ツアー」「技術ツアー」と4つのプロジェクトでウインターシーズンをスタートしました。

1月6日～8日にクラブ員の友達と木島平ツアー、2月2日～3日にハチ、ハチ北のシニアツアー、11日～12日にはクラブ最大のイベントであるやぶはらツアーをクラブ員の友達家族を含めて総勢35名で行い18日には国境でレディースツアーを行いました。

毎シーズン泊りは、やぶはらツアーだけでしたが、今シーズンは3度も泊まりツアーが実施出来た事はクラブ員一人ひとりが「もっと滑りたい」「もっと上手になりたい」と事務局員の背中を後押ししたからだと思います。但し、孫スキーとコブ講習会が出来なかった事は大きな反省です。

4月1日～2日に行われた関西ブロックスプリングレベルアップ・指導員・研修会では野瀬さんが上級指導員に合格され、クラブ内では澤さんに次いで上級指導員が2名になり次年度以降のクラブ員の技術の向上に繋がると思います。

またクラブ員に次年度の会員継続か退会かの返事を頂いた結果、1名も欠けることなく21名全員継続することになりました。次年度は今シーズンの反省を踏まえ4つのプロジェクトツアーが実施出来る様に取り組みたいと思います。

〈忍者S.C〉

忍者スキークラブ2023シーズン行事報告

忍者スキークラブは、滋賀スキー協通信の前号「No.24」で紹介した内容と重複しますが、クラブのグループライン似て呼びかけて、複数のクラブ員が参加した行事をクラブ行事として行っています。行事としては次の通りです。

1/13.14 流葉スキー場 2人

1/18 奥伊吹日帰りスキー

1/27.28 立山山麓スキー 5人

2/4~7 志賀高原スキー場 4人

2/26.27 岐阜、白鳥 貸別荘「ししなべ、カキなベツアー」 9人

3/3.4 流葉スキー場 3人

今シーズン総括

忍者スキークラブは大半の方がシニアの方で、いわゆる「年金者スキー協議会？」です。そのため行事は平日が多く、また、スキー場までの移動も昼間がほとんどです。

滑走についても、体力に合わせてのんびり滑るというスタイルです。

しかしながら、勤労者組もいますので、いろいろな事情で一度も参加できない方がいます。

そのことを考えると、来シーズンはクラブ員が、たとえ1日でも雪上で楽しめる工夫をしたいと考えています。

2023-24 シーズンの 滋賀県スキー協議会総会のご案内

期日 2023年 7月 1日(土)

開会 13:00-15:30

受付 12:50

会場 (G-NETしが 近江八幡)

各クラブの代議員の方は出席ください。また、今シーズンの総括・来シーズンの活動方針などについて積極的なご意見をいただけるようよろしくお願いいたします。会員の皆様の声を集めて、さらなる滋賀スキー協の発展をめざしましょう。

〈編集後記〉

●機関紙発行するために各クラブや各部からの原稿を読ませていただき、どのクラブも多彩な取り組みでクラブ員が和気藹々と活躍されている様子が本当によくわかりました。また、各部の取り組みを載せることにより、それぞれの楽しさがさらに広がり、スノースポーツのおもしろさが広がればいいなと思います。この機関紙が各クラブの今後の取り組みの参考となれば幸いです。

●今シーズンは予定通り年間3回の機関紙を発行することができました。原稿をお書きいただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(北村)